

# 瑞穂町安全安心まちづくり協議会

## 委嘱式及び令和5年度第1回会議 会議録

日 時：令和5年7月20日 18:30～

### 各団体からの活動報告

#### 福生警察署

##### ■配布資料「犯罪発生状況(福生警察署)」

- ・福生警察署管内の犯罪発生状況は、落ち着いている印象
- ・現在は特殊詐欺に重点を置いている

福生警察署管内の特殊詐欺被害：11件 そのうち瑞穂町は1件

##### 【瑞穂町の事案について】

オレオレ詐欺 息子騙り 被害総額約550万円

複数回電話がかかってきて、都度振り込んでしまい、気づいた時には550万円ほど振り込んでしまった後だった。

- ・自転車の盗難被害が多発している

福生警察署管内の自転車盗難被害届件数：225件 そのうち瑞穂町は19件

瑞穂町の被害届件数は、25件(令和4年度の同時期)から-6件

盗難被害自転車のおよそ7割は、無施錠で駐輪場や自宅の庭などに駐車している

⇒現在は自転車の盗難程度だが、悪化して空き巣などをするようになってしまう恐れがある。犯罪の防止および初期段階での抑止が重要。

- ・自転車のヘルメット着用の努力義務化と事故事例について

ヘルメット着用によりかすり傷で済んだ事例と、ヘルメット無着用で転倒し、転倒先にあった尖った障害物が頭に刺さって即死してしまった事例

⇒瑞穂町のヘルメット購入補助事業の活用、ヘルメット着用の啓発等

##### ■配布資料「NTTT 特殊詐欺被害防止サービス」

ちらしは各種イベント等で配付の他、福生警察署職員がポスティングを実施

NTTによる特殊詐欺被害防止サービス(ナンバーディスプレイ・ナンバーリクエストの無料対応)については、各団体などでも特に周知して欲しい。

#### 福生消防署

##### ■配布資料「令和5年第1回 瑞穂町安全・安心まちづくり協議会(福生消防署)」

- ・令和5年の火災発生状況 瑞穂町：4件(たばこ1件、放火(疑いも含む)3件)

令和4年の同時期に比べて、福生消防署管内、瑞穂町どちらも件数・損傷面積ともに減少傾向。

- ・救急車出動件数 昨年度より増加している。

7月に入ってから、熱中症による救急要請が急増。

東京消防庁全体では、1日で3,000件を超える日が多い。

##### ■配布資料「救急車ひっ迫アラート」

救急車の出動要請件数がかかなり増えていることから、緊急ではない場合や受傷ではない場合(自分で病院に行ける程度には余力があるなど)の救急車利用を控えるように呼びかけ。

- 7/1～各種メディアなどを利用し周知している
- ・地域のイベントの再開に伴い、火気使用による火災に注意していきたい
- ・4～5月実施 写生会(瑞穂町内小学校は、2年生が参加)
- 7/22～ ジョイフル本田にて写生会の優秀作品の展示会(各学校から24作品ずつ)

#### 瑞穂町消防団

##### ■配布資料「消防団だより第19号」

- ・令和5年度からイベントの再開
- ・4月 入退団式
- ・6月 消防演習
- ・7月 ポンプ車操法審査会
- ・9/3 総合防災訓練 参加予定

#### 町内会連合会

- ・町内パトロール  
18:00～ 1班10名程度×4班  
冬季にも実施予定

#### 西多摩保護司会

- ・保護観察対象者の件数が減少している。(5～6年前は、50件程度だった)  
一方で、年齢が低下している傾向がみられる。保護観察対象者の7割は20歳以下である。
- ・社会を明るくする運動で、「再犯防止」を重点として活動方針を定めるか現在検討している。そのほか、活動内容を見直している。
- ・少年犯罪を防止するために、中学生向けに啓発イベントを実施。

#### 防犯協会

- ・特殊詐欺被害防止啓発キャンペーンの実施(女性防犯指導員)
- ・町内会と連携して町内をパトロール  
二本木町内会では、月1回20:00～21:00に実施
- ・8/19 サマーフェスティバルにて啓発活動
- ・8/23 福生防犯協会主催少年野球大会
- ・男性防犯推進員、女性防犯指導員ともに今年度改選  
9/29 スカイホールにて委嘱式、その後防犯の集い
- ・10月以降 産業まつり等再開する各種イベントに参加予定

#### 瑞穂町交通安全推進協議会

- ・団体の説明(所属人数、立哨等の活動内容など)
- ・4月 交通安全講習会
- ・4～6月 町内小学校交通安全教室・自転車教室
- ・5月 春の全国交通安全運動期間中の広報・立哨
- ・7月 3地区夏祭り 交通整理
- ・8/5 あきる野市イベント参加予定(交通少年団鼓笛隊)

- ・8/19 サマーフェスティバル 交通整理
- ・9月 秋の全国交通安全運動、秋の交通安全講習会

### PTA 連絡協議会

- ・防災イベントの実施  
コロナ禍での実施のため、参加人数を少数にし、動画を撮影・作成。
- ・瑞P連等の会議で話題になる保護者の懸念事項  
犯罪の低年齢化 一方で、インターネットなどによる犯罪技術の向上  
⇒犯罪の場面(未成年の飲酒、喫煙、薬物利用など)を撮影し、インターネットに流して楽しんだり、それらの動画を見て楽しんだりする。
- ・犯罪を防止するための講話やイベントでも、犯罪に対する危機感を伝えきれていない・子供が危機感を感じ取れていないように感じる。  
危機感を持たせるために過激になりすぎると、(犯罪行為や見た目などをカッコいいと思ってしまい)より犯罪行為を行ったり、逆に精神的に傷付けてしまったりする恐れがあるため、伝え方に悩んでいるのが現状。

### 瑞穂町

- ・青色防犯パトロール 週5回
- ・安協や防犯協会と連帯して各種イベントでの啓発活動
- ・防犯灯のLED化終了、今後は随時要望があれば設置
- ・防犯カメラ50台設置(通学路・公園・駅周辺)  
警察への映像提供。増設も今後検討します。
- ・自転車用ヘルメット着用促進補助事業  
ヘルメットの購入費用の補助事業を令和5年度事業として実施  
対象者：18歳以下、65歳以上、未就学児童の保護者1名  
未就学児童の保護者1名については、他の自治体ではあまり対象としていないものであるが、保育園等の送迎時に自転車を利用する点から対象に追加  
本事業は、消耗品としてのヘルメット購入補助ではなく、ヘルメット着用の啓発を目的とした事業。

### 他団体への質問、意見交換

- ・小中学生の薬物使用防止啓発について、薬物教室などの実施もしているが、危機感が伝わっていない。
  - ・若年層のSNSでの犯罪動画の掲載について、対策などは？
- どの学校や協議会でも同様の質問がでる。同じ危機感を多くの保護者は持っている。
- 福生警察署管内では、同様事案の被疑者はあまり出ていない。
- 大人よりも子供の方が最近のSNSや機械の使い方に長けているため、注意しようとしても子どもがどんな操作をしているか分からなかったり、大人が気付く前に履歴や記録を削除していたりすることもある。そのため、大人もSNSの使い方を知る必要があると考える。